



東山動物園くらぶ ニュース

Vol.5 2017年4月発行

アカコンゴウインコ

アカコンゴウインコは本園の「バードホール」で見ることができます。メキシコから南米の熱帯森林やサバンナに生息する大型のインコです。体色は美しい深紅色をしており、翼は赤・黄・青のグラデーションになっています。枝から枝へ移動するときには、くちばしを第3の足として利用します。乱獲や生息環境の破壊が進み、生息数が減少しているため、ワシントン条約により取引は厳しく制限されています。



こんにちは！副代表の櫻庭です。いつも東山動物園くらぶを応援していただきありがとうございます。2016年度は継続して実施してきた「東山こどもガイド」が10年目を、法人格を取得して6年目を迎えました。私は10年前に東山こどもガイドの学生スタッフとしてかわり、NPO立ち上げメンバーとしても参加させていただきました。つまり私も10歳年をとったことになりましたが(笑)、こうして10年という節目を迎えられたことを大変うれしく思っております。

最後に私事で大変恐縮ですが、昨年2016年11月に博士号を取得いたしました！これも皆様の応援のおかげです、ありがとうございました。これで正式に「博士号をもつ専門家」がいる団体になりますので、今後も東山動植物園での環境教育や動物たちの飼育環境改善のお手伝いを続けていくとともに、次の10年に向けて発展させていこうと思っております。皆様にも引き続きご支援ご指導いただければ幸いです。今後とも東山動物園くらぶをよろしくお願いいたします！

(副代表 櫻庭陽子)

ガイドブックが新しくなりました！

「ず〜っといっしょ 東山動物園公認ガイドブック」を2012年に出版いたしました。出版から5年経過したこと、動物園の開園80周年を迎えることから、加筆修正し「ず〜っといっしょ2 東山動植物園公認ガイドブック」として改訂版を2017年3月に出版いたしました。5年の間に起こった出来事やこどもガイドで扱った動物種を加え、動物の情報及びコラムを最新情報に更新いたしました。また、本のサイズも文字も大きくなりましたので、ぜひお手にとって動物園に足を運んでいただければと思います。



(中日新聞社発行 1,200円)

☆オススイベント☆

第6回東山動物園検定

2017年6月3日(土)開催予定



こんにちは！学生スタッフの神山拓海です。今回東山動物園をピックアップしてお知らせします。僕は2012年より開催されている「東山動物園検定」で初年度から2015年まで受験し、そのうち2回は東山動物園チャンピオンの称号をとらせていただきました。去年から当団体に所属し、問題や解答解説の作成、ガイドツアーの進行などを担当させていただいております。検定の平均点は60点前後で、なかなかの難問ぞろいです。得点に応じて称号がもらえ、100点をとると動物園チャンピオンの称号をもらうことができます！ちなみに、東山動物園検定の参考書の「ず〜っといっしょ2 東山動植物園公認ガイドブック」の制作に関わらせていただきました。新たなコラム、新規追加動物など初版にはなかった箇所がありますので、検定を受けるときにはチェックしておくといくとも良いかもしれません。また、それ以外にも実際に足を運ばないとわからないような問題もあるので、ぜひ東山に足を運んで確認してみてください。皆様の参加を心より楽しみにしております！

(学生スタッフ 神山拓海)

活動報告

東山動物園くらぶでは、名古屋市東山動物園と協働してさまざまな活動をおこなっています。その活動の中から昨年度に実施したものを報告いたします。活動報告の最後には、記事を書いたレポーターの紹介を掲載しています。東山動物園くらぶのイベントでぜひ彼らを探してみてください。

第 5 回東山動物園検定

2016 年 5 月 29 日（日）開催

東山動物園検定は、多くの人に東山動物園や動物について知ってもらい、より動物園を楽しんでもらうことを目的としておこなっています。問題は東山動物園に関する「個体情報」・「生物」・「種」・「時事」・「施設」・「歴史」の 6 ジャンルから構成され、4 択形式で全部で 50 問を出題します。今回で 5 回目の開催となり、この日を迎えられたことを大変うれしく思っております。これからも皆さんに動物や東山



学生による問題解説

動物園について楽しく学んでもらうために工夫をこらしてより良い検定にしたいと思います。第 5 回の受験者は 54 名で、平均点は 49 点と過去 5 回で最も低い点数となりました。今回の問題作成には過去 4 回チャンピオンに輝き殿堂入りを果たしたチャンピオンが参加したため、考え抜かれたマニアックな問題に苦戦した人も多かったのではないのでしょうか。今後も、より質の良い問題を作成したいと思います。

東山動物園検定の攻略法は、ズバリ「東山動物園に“実際に訪れて”楽しみながら動物園や動物について学ぶ」ことです！ちなみに昨年のジャンルごとの得点率で最も低かったのは「時事」でした。「時事」についての対策が高得点へのカギかもしれません！ぜひ、東山動物園検定に参加して動物園チャンピオンを目指してみませんか？

（レポーター：竹本彩香）

第 18 回公開セミナー

飼育の流儀～メダカからゾウまで～

2016 年 8 月 10 日（水）開催

今回は、講師に東山動植物園嘱託員の佐藤正祐さんをお招きしました。40 年以上東山動物園に勤務されていたことから、アジアゾウの調教や、当時日本初導入であったコアラの飼育、メダカ館での飼育と環境教育、そしてアジアゾウの繁殖と、東山動物園の大きな出来事に関わってこられたお話はもちろん、佐藤さんの飼育員としての考え方や姿勢を形作ってきたバーバリシープの飼育や、浅井力三さんとの出会いなど佐藤さんならではのお話も聞くことができました。さらに、飼育している動物だけではなく、実際に佐藤さんが発見されたタガメの習性の例から興味を持ったものは徹底して追究する姿勢を参考にしたいと思いました。

佐藤さんは昨年定年を迎えられ、41 年間の飼育員人生に幕を閉じられました。佐藤さんが、関わってきたすべての動物について、愛おしそうに話される姿に心

を打たれました。そして、今まで飼育員として過ごしてこれたことへの感謝と共に、これから飼育員を目指す人へのメッセージ、最後に佐藤さんが大切にしてきた言葉をいただきました。『まず動け 而して考えよ』佐藤さんの人柄と「飼育の流儀」が詰まった素敵な 1 時間でした。

（レポーター：西村友希）



佐藤さんによる講演

東山こどもガイド 2016

2016 年 9 月 25 日（日）、10 月 2 日（日）、9 日（日）開催

「東山こどもガイド」は、こども達の動物に対する知識の取得と社会貢献意識の向上を目的として、東山動植物園と協働で 2007 年から毎年開催されており、今年で 10 回目を迎えました。このイベントは、3 日間にかけておこなわれ、室内学習や実習でこども達が動物園で動物について学び、そこで得た知識や経験をもとに来園者へガイドをするというものです。

今年の東山こどもガイドは「獣舎から学ぶ動物園」をテーマにおこないました。ガイド対象動物は、インドサイ・イワトビペンギン・カリフォルニアアシカ・カナダヤマアラシ・シンリンオオカミ・イタセンパラです。こども達は、担当動物種の基本情報に加え、学習を通して担当動物の野生下での生活や生息地環境を学びました。また、実習を通して動物園の生息地に近づけた獣舎の展示方法の工夫を知り、それらが担当動物の行動にどう繋がっているか考えることもおこないました。それらを生かして自らガイドを作り上げていく姿、担当動物の帽子などを見につけてクイズや劇を交えてガイドするこども達は、とても生き生きとしていました。ガイドには幅広い年齢層の方々に来ていただき、「勉強になった」、「今後も続けてほしい」などの声も多くいただきました。また、アンケートから動物や環境、東山こどもガイド、様々なことに興味を持っていたことも分かりました。今年もこども達のガイドは大盛況となりとてもすばらしいものとなりました！私自身今回のこどもガイドを統括するにあたり、こども達とガイドを聴いてくださった多



インドサイの実習の様子

くの方々が、飼育下・野生下の動物たちが暮らしている環境について目を向けるきっかけにしたいという思いがありました。今後も多くの方々にこども達によるガイドを通じて様々なことを伝えていけたらと思います。

今年も第 11 回東山こどもガイドを開催する予定です。様々な視点から動物園を見るきっかけにもなると 생각합니다。今後もぜひこども達による生き生きとした元気なガイドを聴きにきてみてください。

当日のスケジュール

1 日目「学び、体験する」

アイスブレイキング

班探しゲームで、1 組 7 名構成の 6 つの班に分かれる。

室内学習

先生役の大学生から、担当動物について学ぶ。

実習

飼育員さんの協力のもと、班ごとに様々な実習を行う。

2 日目「準備、練習」

台本&ガイドグッズ作成

ガイドに使用する台本、ガイドグッズを作成する。

班別練習

班別でガイドの練習をする。

リハーサル

ガイド本番と同じ場所で行う。

3 日目「ガイド本番」

来園者に向けてガイドを行う。



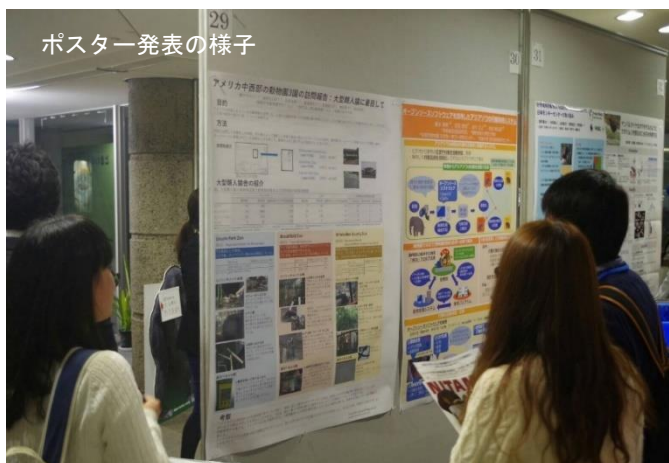
（レポーター：柳原未伶）

SAGA19 (Support for African / Asian Great Apes)

会場：ときわ動物園(山口県)

2016 年 11 月 19 日 (土)、20 日 (日) 参加

SAGA (アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い) は大型類人猿の現状と将来について、研究・飼育・自然保護という立場から考えるために集まった組織です。毎年、日本各地でシンポジウムが開かれ、大型類人猿をはじめ様々な動物や動物園に関する講演やポスターセッションがおこなわれています。私



たちは東山動物園くらぶという組織やその活動について知ってもらうため、また研究者や飼育員など様々な方々と交流を図るため、このシンポジウムに毎年参加しポスター発表をしています。今年は山口県の宇部市ときわ動物園で開催されました。

私たちのように動物園と NPO、大学生が協力してイベントを運営することはめずらしく、シンポジウムを通して多くの方に興味をもっていただけました。また、ほかの大学生と交流もでき、自分たちの活動を見つめなおす良い機会となりました。また、ポスターを作成する中でこれまでの活動を客観的に分析することができました。これらのことを今後の活動に生かしていきたいと思います。

今年は愛知県犬山市の日本モンキーセンターで開催されます。どなたでも参加できるので、気軽に参加してみてください。(レポーター：工藤野乃)

第 4 回東山動物園寄席

2016 年 11 月 20 日 (日) 開催

東山動物園に落語家さんをお招きし、動物園や動物に関する演目を披露していただく東山動物園寄席も今年で 4 回目の開催となりました。今回は、動物の声帯模写をされる江戸家小猫さん、落語家の林家まめ平さん、漫才コンビのロケット団さんをお招きしました。江戸家小猫さんには、ヤギとヒツジ、アシカやゴリラなど様々な動物のものまねを披露していただき、林家まめ平さんにはイヌが登場する落語、ロケット団さんには山形弁を交えた漫才をしていただきました。今回も多数の参加申し込みがあり、当日は 140 名ほどのお客様に来場していただきました。会場は満席で、どの演目にも笑い声が響いていました。落語をよく聴くというお客様が多く、動物園ファンだけではなく寄席ファンの方にも楽しんでいただけたようでなによりで

す。寄席をきっかけにして動物についてもっと興味を持っていただけたらうれしいです。

(レポーター：野口佳純)



動物園紹介

東山動物園くらの学生が昨年訪れたおすすめの動物園を紹介します。今回は、山口県の徳山動物園・ときわ動物園、アメリカの Brookfield Zoo です。機会があればぜひ訪れてみてください！

周南市徳山動物園（山口県）

2016 年 11 月 18 日（金）訪問

周南市徳山動物園は頭を抱える仕草で一躍話題となったマレーグマのオス「ツヨシ」がいるところ而闻名です。様々な動物をひと通り見ることができ、動物とお客さんとの距離がとても近いのが特徴です。ハヤブサの仲間のカンムリカラカラ、セグロジャッカル、マレーヤマアラシなど国内の動物園では珍しい動物もたくさんいます。私のおすすめはアジア



アジアゾウのミリンダ（左）とナマリー（右）

ゾウです！ゾウとの距離が近く、迫力満点です。ここにいるのはオスのミリンダとメスのナマリーの2個体で、東山のアヌラとコサラと同じくスリランカのピンナワラ象の孤児院生まれです。また、周南市はあの「ぞうさん」の作詞を手がけた詩人の「まど・みちお」さんが生まれた場所而闻名です。ゾウ舎前の広場には「ぞうさん」の歌詞が描かれた石碑や昔飼育されていたゾウを題材にした詩があり、ゾウと周南市は深いかかわりがあるのだなあと感じました。2016 年春にはふれあい広場「るんちゃ♪るんちゃ」がオープンし、数年後には新しいゾウ舎が完成するなど改修計画が進行中です。動物との距離が近く、徐々に生まれ変わりつつある徳山動物園にぜひ行ってみたいはいかかでしょうか。

（レポーター：神山拓海）

ときわ動物園（山口県）

2016 年 11 月 19 日（土）、20 日（日）訪問

SAGA19 が開催されたときわ動物園では動物の生息地を再現した、「生息環境展示」を園内全体に取り入れています。これは全国の動物園では初の試みです。まさに「今もっともアツい動物園」のひとつです！複数のエリアに分かれ、果実を模したフィーダーから餌を探して食べるシシオザル、湿原地帯にいるように見えるクモザルとカピバラ、運動場を駆け回るパタスザルなど、生き生きとした動物の行動を観察できます。ハヌマンラングールやボンネットモンキーなど国内



迫力満点のシロテテナガザルの腕渡り！

ではあまり見られなくなった中型の霊長類が多いのも特徴です。私の一番のおすすめはアジアの森林ゾーンのシロテテナガザルです。テナガザルの展示というと、周りを水で囲われた島にうんていがある、または高さのあるケージなどが多いですが、ここは水で囲われた島に大小さまざまな樹木が植えられています。テナガザルたちがその木々の間を、縦横無尽にものすごいスピードで腕渡しする姿を観察することができます。その姿は動物園ではなく、森林で彼らを見ているようです。私が一番印象に残った展示で、まさにこの目玉といえる動物です。動物の飼育にはできるだけ青草や野草など自然で食べているような餌を多く与え、運動場に植える植物の世話も行うなど、動物たちに配慮した飼育法も行っていることがわかりました。

ときわ動物園で、彼らの生き生きとした姿から、生息環境について親しんでみるのはいかがでしょうか。

（レポーター：神山拓海）

Brookfield Zoo はアメリカのシカゴ郊外に位置しています。1ヘクタールあたりの個体数で比較すると、東山動物園が488.8頭なのに対して、Brookfield Zoo は22.9頭であり、広くてゆったりとした動物園であることがわかんと思います。今回は Brookfield Zoo の印象的だった2つの展示を紹介します。一つ目はフンボルトペンギンを中心とした「Living Coast」です。順路通りに進むと、上空をインカアジサシが飛び、プールではペンギンが泳いでいる展示がありました。さらにその先にはペンギンについて学べる場所がありました。「ペンギンに与える餌は？」という問いの隣にキッチンと様々な海の産物が用意されており、視覚的に分かりやすくなっていました。また、動物園が取り組んでいる保護活動などがわかりやすく解説されており、どのようにして来園者がペンギンの保護に携われるか、といったメッセージが明確にされているのが印象的でした。二つ目は「Habitat Africa! The Savannah」のキリンです。広大なスペースで座ってい



るキリンも見ることが出来ました。ゆったりとした空気のなかリラックスしたキリンに出会えたことで私もリラックス出来ました。日本の動物園と海外の動物園は、展示の仕方もパネルも全然違います。日本とは違ったメッセージ性のあるパネルなどの展示方法に驚きました。次の海外旅行からは動物園巡りという新たな楽しみを追加してみるのはいかがでしょうか。

(レポーター：櫻井ひかり)

レポーター紹介

岐阜大学3年 竹本彩香

釣りが好きです。最近はなかなかできていませんが、いつか船で沖に出て大物を釣り上げることが夢です。好きな動物はライオンとメガネグマです。

岐阜大学3年 柳原未怜

オーストラリアで見てさらにカモノハシが大好きになりました！世界のいろんなところに行ってみたくです。ネズミ目も大好きです。

岐阜大学2年 工藤野乃

こどもガイドでカリフォルニアアシカを担当してからアシカがとても好きになりました。家では三毛猫を飼っています。

岐阜大学2年 櫻井ひかり

大型類人猿の知能の高さ、奥深さに魅せられてから動物園に行き行動観察をするのが大好きです。年間、60回以上動物園に行くほどの動物園バカです。



ぼくはちっくです。最近鳥に興味が出始めて、バードウォッチングを始めようと思っています。おすすめのスポットを探したいです。ハーモニカふけます。

岐阜大学3年 西村友希

動物園巡りが好きで、目標は全国のJAZA加盟園を制覇することです。好きな動物はゾウをはじめとする大型草食獣です。また、ギリシャリクガメとインドホシガメも飼っています。

名城大学3年 神山拓海

げっ歯類と読書が好きです。最近気になっている動物は、マーモットです。東山動物園のおすすめ動物はプレーリードッグです。尺八ふけます。

岐阜大学2年 野口佳純

東山アイドル図鑑 ～私のイチオシなアイドルを紹介します～



名前：マンジュウロウ
性別：オス
生年月日：2004年11月28日
来園日：2008年8月25日

今回は「東山のサル舎一ど派手な顔の霊長類」のマンドリルのマンジュウロウを紹介します。

彼は2004年11月28日に京都市動物園で生まれ、メスのコルリのムコさんとして2008年8月25日にやってきました。常連のお客様からは「マンジ」と呼ばれています。活発な性格で食欲旺盛です。時折止まり木につかまり、大きな音を立てて思いっきり揺らすディスプレイは迫力満点です！夕方屋内展示室に戻ると部屋一面に敷き詰められたワラの中に隠されたえさを一心不乱になって探して食べています。メスのコルリとの仲は悪くありませんが、ご飯の時にはコルリの分まで食べたり、追い払ったり、強引に捕まえたりなどして厳しい一面も見えます。また、サツマイモなどの切り餌を水に浸して食べるというユニークな行動も見られます。その様子は幸島のイモ洗いサルならぬ、東山のイモ洗いマンドリル!?2012年にコルリとの間に第1子のクルリ(メス)が誕生し、現在彼女は沖縄こどもの国にいます。今は第2子誕生を目指してコルリと同居中で時々コルリに優しくグルーミングする姿は必見です。立派な鮮やかな顔で、食欲旺盛な彼をぜひじっくりと観察してみてください！
(レポーター：神山拓海)

東山動物園くらぶ information

～ご報告～

第19回公開セミナーを開催しました！

テーマ：Doctor.Y ～私、あきらめ悪いので。～
講師：櫻庭陽子さん(京都大学霊長類研究所研究員)
日程：2017年3月24日(金)
開催場所：ウインクあいち

賛助会員募集中！

東山動物園くらぶは動物園の「環境教育」のお手伝いをするとともに、子どもから大人まで楽しめるイベントを今後もおこなっていきます！そこで、私たちの活動に賛同し協力して下さる賛助会員を現在募集しています。

申込み方法

氏名、ご住所を下記アドレスまでご連絡ください。
入会申込書を送付いたします。
Email:higashiyama.zooclub@gmail.com

～今後のイベント～

第6回東山動物園検定

日程：2017年6月3日(土)
開催場所：東山動物園内動物会館

第20回公開セミナー

日程：2017年6月頃

東山こどもガイド2017

日程：2017年9月24日(日)、10月1日(日)、
10月8日(日)

開催場所：東山動物園

東山動物園アイドル総選挙(仮)

日程：2017年10月頃

第5回東山動物園寄席

日程：2017年11月頃
開催場所：東山動物園内動物会館

※日程、開催場所は変更になる場合があります。

発行・編集
NPO 法人



お問い合わせ higashiyama.zooclub@gmail.com

～おまけ～ 川柳テーマ「zoo 学あるある」

セミナーで
知って得する
動物園

佳作特別賞

動物園
遊びに行っても
観察眼

佳作特別賞

サークル中
会議で深まる
議論と絆

金賞